

洋光台 交流づくり 地域会

活動の経過

平成 24 25 26 27 年度

※補助金交付年度は、
白抜き文字

季節の造花の飾り付け

活動を始めたきっかけ

少子高齢化が進むなか、洋光台地区においても、将来の社会の担い手となる青少年の育成は地域全体で取り組むべき重要な課題です。

「洋光台交流づくり地域会」は、自治会町内会、商店街と中学生との交流による、地域における青少年の見守りや地域住民の顔の見える関係づくりの推進、さらに駅前の商店街の賑わいの促進と洋光台地区の活力の向上を目的に活動を始めました。

補助金交付時の活動

構成員

サンモール洋光台商店街、洋光台第一中学校、
洋光台中央団地自治会、洋光台北団地一街区自治会

主な活動

洋光台駅周辺のサンモール広場と商店街を活用し、地域・商店街・中学校の交流活動を行いました。

- 中学生による商店街訪問インタビュー
- 広場の飾りつけ・美化
- 中学生の写真等の作品展示



中学生の写真等の作品展示



活動の様子

● 中学生による商店街訪問インタビュー

商店街約10店舗の協力を得て、インタビューを実施しました。生徒たちは「お店をやっているのは難しいことは?」、「お店をやるために必要なことや資格は?」などの質問をし、**お店の人の話を真剣に聞いてメモをとっていました。**

インタビュー終了後は笑顔で「緊張したけれど、お店の人がどういう気持ちで働いているのか聞いて面白かった。商店街の人が自分のお店だけでなく地域のいろいろなことを考えていることがわかって、お店の人を見る目が変わった」と話していました。

生徒たちにとって、身近な地域としての商店街・お店の存在について学び、また、仕事をすることについて考えるきっかけとなりました。



職場訪問インタビュー



飾り付けた造花

● 広場の飾り付け・美化

● 広場を通る地域の方々に季節感を味わってもらうために、季節の造花を飾り付けました。高所などの作業も**地域の人と協力して行いました。**

広場が明るく華やいだ雰囲気になりました。



鯉のぼりの色付け



広場に飾られた鯉のぼり

● 端午の節句に向けて、鯉のぼりを思い思いに色付けしました。5月にはサンモール広場に商店街が集めた鯉のぼりと共に飾られ、広場を賑わせました。

● 多くの地域の方が通るサンモール広場の清掃を行いました。汚れたタイルをブラシで磨くなど、地域の人たちが、**自分たちで地域をより良くしていこうと活動している姿を見て、通りがかりの人が足を止めて話しかけている光景が印象的でした。**

～ 柿木代表(当時)・サンモール洋光台商店街会長に伺いました～

交流を行う中で、うれしかったことは?

インタビューで商店街に来た中学生が、後日地域で会ったときにあいさつをしてくれました。やはり嬉しかったです。家族と一緒に、インタビューをしたお店に来てくれることもありました。

活動の手応えは?

交流会に参加しているメンバー間では、3年間の活動や準備を通して、顔の見える関係ができました。近隣の他の中学校からも参加したいと依頼があり、職場訪問などの交流を行うようになりました。

今後の展開は?

補助金を使った活動は平成26年度までで終了しましたが、中学校からの訪問の受入は今後も継続して行っていく予定です。これまで行ってきた1年生のインタビューに加え、27年度から2年生が職業体験に来ることになりました。地域と学校だけでなく商店街の場を使ったこのような取組が、洋光台地域全体にもっと広がってほしいと思います。



柿木代表(当時)